

2. 地域における取組 （美原区）

■経緯

- ・平成22年度に美原区自治連合協議会より、バス利用促進の取組を検討してほしいとの要望
- ・平成23年度より美原区自治連合協議会との懇話会を開催

■平成23年度の取組内容

●美原区内のバス交通に関する調査(アンケート)の実施

美原区内のバス利用促進策等を検討するため、美原区民の日常生活での移動の状況や、使いやすいと思われるバスのあり方について、美原区自治連合協議会の協力を得てアンケート調査を実施

●美原区のバス利用促進について考えるワークショップの開催(全4回)

美原区民の皆さんに現状のバス交通における課題、問題点等について意見交換していただき、利用促進策の取り組みの一つとしてバスマップを作成することを目的に開催

テーマ: 「美原区内バス交通の利用促進」と「使いやすいバスマップ作成」

- 第1回: 美原区における交通の現状と利用促進の必要性
- 第2回: バスマップの作成方法と掲載内容等の検討
- 第3回: 利用促進につながるバスマップの活用方策の検討
美原区内のバス交通に関する調査結果の報告
- 第4回: 美原区で望まれる利用促進策のまとめ

■バスマップ【例. 黒山地区】

KTROVAMA
一度読んでおくと
我が家のバスが
黒山地区
バスマップ

ここに時刻表を貼ってください

中野市、各の地区のバスマップについては、黒山地区役所情報コーナーや中野市公共交通課に聞いて下さい。
また、中野市公共交通課のホームページ (<http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/koutusokoku/index.html>) からダウンロードできます。

新市 美原 MIHARA 2012

バスを支えているのはみなさんです

クルマは便利な乗り物ですが、自分で運転できない方は、バスが重要な移動手段となります。しかしながら、そのバスの利用者が減少しており、このまま利用者が減り続けるとバスサービスが維持できなくなり、バス路線の廃止につながるおそれがあります。そんななかにも、元気なバスでバス利用を促進し、バスを利用してみませんか。

● 月1回のバス利用が大きな力になります。
例えば、美原区近郊路線バスにおける年間の乗車数は、約467,000(人/年)です。みなさんが今より1回、バスの利用回数を増やすと年乗車数は約2倍になります。

● 乗車定員 39,000人 年間で現在の利用者数分 468,000(人/年)増減
● バス利用 1回/月 12回 1回増減 2,000円(利用可能)

● バスを利用すると...
● 乗車料 クルマに比べ、圧倒的に安い。地方消費電力料金は高いです。
● 乗車回数 クルマで移動するよりバスを多く利用すれば乗車料は減ります。
● 乗車回数 クルマで移動するよりバスを多く利用すれば乗車料は減ります。
● 乗車回数 クルマで移動するよりバスを多く利用すれば乗車料は減ります。

● 近郊バスカード 2,200円(利用可能)
● なんかいカード 3,300円(利用可能)

● おでかけ応援バス
 障がい者、高齢者の外出支援と社会参加を促進するため、満65歳以上の方が、南海バス近郊バスを1乗車100円(利用可能)で乗車いただけます。
 利用可能日時 毎月15-15-20-25-30のみ
 利用方法の詳細は、お問い合わせください。TEL:072-228-8347

この地図は、国土院の地籍図を基に、近郊バス路線を2000m幅の網目(1網目1km)で作成したものです。(掲載年:平成22年、第21版)

問い合わせ先: 中野市公共交通課 TEL:072-228-7446 FAX:072-228-6448 ● 近郊バス(株) 黒山バス TEL:072-228-1100 ● 南海バス(株) 金海バス TEL:373-251-4751 ● 黒山営業所 TEL:072-228-2626 (中野市公共交通課の隣) <http://www.nankai-bus.co.jp/> 平成24年7月1日現在

■今年度の取組内容

●バスマップの配布

昨年度ワークショップにて作成したバスマップを美原区自治連合協議会の協力を得て配布するとともに、美原区役所市政情報コーナー、公共交通課での配架や公共交通課のホームページに掲載

●パネル展示による啓発

美原区における取組みを区民に広くPRするとともにバスの利用促進を図ることを目的として、バスマップとアンケート調査の結果概要、堺市のバス交通の現状やバス利用のメリット等をパネルにて展示

○展示期間：平成24年8月1日～10日

○展示場所：美原区役所1階ロビー 風の広場

